

劇場に「公演」が還ってくる。

—— ご挨拶 ——

やっぱり時節柄でしょうか、それと、最近の距離が近かったり、遠かったりした出来事を踏まえて「生きる」ってことを考えます。

今回の短編集、セレクトした時はそんな風に思ってたんですが、こうして改めて見るとハッキリ「生きる」ことが「生き続けること」がテーマになってるように思います。スパッと断ち切れず、情けなくも苦い笑みで、明日を迎える姿勢や眼差しが、僕にとって生きるということなのかも知れないと思います。

だから、生きようと思います。

情けなくてもこういう風に誰かに作品を届ける事が生きる事なのかななんて、真顔で思ったりするのです。
作・演出 関戸哲也

ソーシャルディスタンス。コロナ禍。もう聞きたくないと耳を塞ぎたくなる言葉と縁の切れない生活が続いています。人々の心を弱らせてしまう出来事が年々増えていて、今年はそれが最大級の気がしています。すぐそこにある、しかも目に見えない驚異との闘いの継続。

「人と距離を取らなければならない」って、人にとって、これ以上ないストレスですよね。

そして距離を取らなければならない」ということによって、今まで気にせずすれ違っていた人のことや、その向こう側にある生活を意識する機会が増えました。それはもしや神様からのメッセージ？とか色々考えちゃいます。じゃあ、あたしは今、何をしよう？何がしたい？

まずは、こうして奇跡的に出会えた、今日お会いできた皆さまと、その向こう側にあるかけがえのない人生を大切にしたいです。安心して楽しんでいただけることを願いつつ、座組全員で準備して参りました。ささやかな時間・空間ですが、どうかひととき、最後までごゆっくり、お楽しみくださいませ。

プロデューサー おぐりまさこ

SPECIAL THANKS (敬称略)

G/PIT 円頓寺レピリエ ナンジャール 黄金 4422bld. 中京堂 演劇練習館アクテナン

演劇組織 KIMYO オレンジスタ room16 高山一族 劇団バカスの水族館 劇団わに社 名古屋大学劇団新生

空宙空地とは 一笑っちゃうほど滑稽で、泣いちゃうぐらいにおいしい

名古屋を拠点に各地で活動を重ねる関戸哲也 × おぐりまさこの演劇ユニット。津・大阪・札幌・東京・長野などの他地域にも活動範囲を広げている。長編「轟音、つぶやくうたう、うたう彼女は」は名古屋市民芸術祭 2016 にて特別賞（奨励賞）を受賞、2018 年再演ツアーで札幌 TGR にて優秀賞受賞、札幌演劇シーズン 2020- 冬に抜擢された。短編「ショウアワセルフ」は 2019 年、札幌教文短編演劇祭で優勝、同上演にて関戸哲也がベスト俳優賞受賞。2020 年、劇王 2020 にて関戸が第 12 代劇王となる。



マスク着用のままお楽しみください。



熱中症対策の
水分補給もお気をつけて。



ビニールカーテン越しに
お見送りさせていただきます。



お帰りの際にも
手指の消毒を♪

上演順／キャスト 3 作連続上演：約 70 分（舞台転換中は扉開放の上、換気時間といたします）

- A** 「ライト」 女（小谷恵子）：おぐりまさこ
「さらば青春の光」 シズカ：元山未奈美／ユウコ：藤島えり子／タツヤ：今津知也
「飛ばないロケット」 男：関戸哲也／女：おぐりまさこ
- B** 「たりない二人」 1（近藤レイコ）：元山未奈美／2（土屋ヒロコ）：おぐりまさこ
「雨とマックと喪服の二人と」 男：今津知也／女：藤島えり子
「レフト」 男（野間口浩）：松井真人

上演スケジュール

	23日(木)	24日(金祝)	25日(土)	26日(日)
11:00			B	B
13:00		A		
15:00			A	A
18:00				
19:00		B	B	
19:30	A			

COVID-19 感染拡大防止対策の観点から今回、白瀧酒造の銘酒試飲会の開催は
ございません。どうぞご了承くださいませ。

演技経験も、外見も、住む場所も、関係ない。
業界初の「ユニバーサル・オーディション」

物語になるのは、
いまのキミに つながる記憶。

ユニバーサル・オーディション

関戸哲也・おぐりまさこが
脚本家・審査員として参画